

兄妹で治療を行った小児アトピーの経過（10 歳男児・6 歳女児）

症例 ID：001-10-AK2a | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

10 歳の長男は 5 歳頃からおしりにアトピー症状が出始めました。最初に受診した病院でジフラルールを処方され、当初は症状が目立たなくなりましたが、次第にいくら塗っても治りにくくなりました。転院先で、これまでの薬がベリーストロングのステロイドであると知らされました。

その後、なるべくステロイドを使わない方針の病院にも通いましたが、弱いステロイドや抗アレルギー剤の使用がありました。通院開始から半年頃には食事制限も指示され、小麦、牛乳、大豆、魚、野菜の一部などを制限しましたが、おしりの症状は良くなりず、6 歳の妹にも同じような年齢でおしりの湿疹が出始めました。2002 年 6 月中旬に松本医院のホームページを見つけ、同月末に兄妹で受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	長男はジフラルールを使用し、その後の病院で弱いステロイド、抗アレルギー剤を使用した経過があります。長女のステロイド使用歴は不明です。
製品名	ジフラルール。その他は不明です。
強度	ジフラルールはベリーストロングのステロイドと説明された経過があります。その他の強度は不明です。
使用期間	長男は 5 歳頃から松本医院受診前まで使用歴があります。具体的な期間は不明です。
中止時期	2002 年 6 月末の松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針に移行しました。
来院前／後	来院前に長男の使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
長男 5 歳頃	来院前	おしりにアトピー症状が出始めました。最初の病院でジフラルールを処方され、当初は症状が目立たなくなりました。
転院後	来院前	ステロイドの種類を知り、薬について調べるようになりました。弱いステロイドや抗アレルギー剤を使う時期もありました。
通院半年頃	来院前	食事制限が始まり、小麦、牛乳、大豆、魚、野菜の一部などを制限しましたが、アトピー症状は良くなりませんでした。
長女 6 歳頃	来院前	妹のおしりにも湿疹が出始めました。
2002 年 6 月末	治療開始	兄妹で松本医院を受診しました。煎じ薬を開始しましたが、匂いと味で最初は二人とも嫌がり、牛乳を入れることで飲めるようになりました。
開始後 1 か月	初期変化	長男・長女とも最初の 1 か月でかなりきれいになりました。
2002 年 8 月頃	再燃期	二人とも再びブツブツが出始めました。長男は出てはおさめることを 11 月時点まで繰り返していました。
2002 年 11 月時点	経過時点	長男は来院前に比べておしりの状態が大きく変化し、症状は一部に限られていました。かゆがることもなくなり、快適に過ごしている様子でした。

4. ピーク時期

ピークは、松本医院受診前の長男のおしりから太もも上部にかけて広く症状が出ていた時期、および長女が9月頃からおしりの赤みが強く続いた時期です。長男は11月時点で、症状の範囲が一部に限られ、かゆがることなくなっていました。

5. 患者さん・家族の困りごと

- ・長男は育ち盛りの時期に食事制限があり、親子で暗い気持ちになるほど負担がありました。
- ・兄妹でアトピー症状が出たことで、保護者の不安が大きくなりました。
- ・煎じ薬の匂いと味に抵抗があり、飲ませ方を工夫する必要がありました。
- ・長女は9月以降、おしりの赤みが強い状態が続きましたが、次第に弱くなっていました。

6. 経過のまとめ

2002年11月時点で、長男は来院前に比べておしりの症状範囲が小さくなり、かゆがることもなくなって、日常を快適に過ごしている様子でした。長女は9月頃からおしりの赤みがまだ消えてはいませんでした。日常生活の負担が減り、前向きな変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。